

令和4年9月5日
子ども・若者部
教育委員会事務局

世田谷区立奥沢中学校改築整備方針について
(区立奥沢中学校・区立児童館との一体整備)

1 主旨

世田谷区立奥沢中学校については、区立児童館の整備の考え方に基づき、児童館未整備地区の解消を図るため、関係部署とも協議・調整を進め、令和4年1月31日の文教常任委員会及び2月1日の福祉保健常任委員会に報告したとおり、既存施設規模や学校敷地の有効活用等を勘案したうえで、中学校を全面改築し、合わせて学校敷地内に区立児童館を整備することとした。

このたび、世田谷区立奥沢中学校改築及び区立児童館の奥沢中学校敷地内への一体整備による整備方針を取りまとめたので、報告する。

2 整備方針

(1) 基本的な考え方

奥沢中学校と児童館の一体整備

奥沢中学校の改築に合わせ、学校敷地の有効活用を図りながら、学校敷地内の北側に区立児童館を整備する。

敷地内道路の整備

敷地内には、区道及び区管理道路の道路線形がある。奥沢中学校の改築の機会を捉え、行き止まり道路の解消と地域の防災面の向上を図るため道路整備を行う。

奥沢中学校の全面改築

平成31年2月の次期改築校選定において、「世田谷区公共施設等総合管理計画」の考え方に基づき、当該中学校の整備にあたっては、棟別・長寿命化改修としていたが、中学校の改築に合わせて、児童館及び敷地内道路の整備する必要があることから全面改築とする。

改築工事中の仮設校舎整備

工事期間中も既存体育館棟(一部特別教室含む)を活用して仮設校舎整備の抑制を図り、仮設校舎は、敷地南側に普通教室や特別教室、管理諸室等を整備する。なお、給食の提供は、太子堂調理場からの受け入れにより対応する。

(2) 敷地概要

施設利用状況(令和4年5月1日現在): 生徒数159人(6クラス)

敷地概要

所在地	世田谷区奥沢一丁目42番1号
敷地面積	11,081m ²
都市計画等	第一種低層住居専用地域、 容積率100%-建ぺい率50%、第一種高度地区、 第一種文教地区、準防火地域

(3) 施設規模

施設の延床面積は、中学校は普通教室、特別教室、管理諸室、屋内運動場、防災倉庫等を確保するため、約6,890m²とする。また区立児童館は、必要な延床面積を確保し約735m²とする。屋外に館庭、駐輪場等を設置する。

建物（棟）	既存面積	整備後面積
奥沢中学校	約 6,592 m ²	約 6,890 m ²
区立児童館		約 735 m ²

奥沢中学校

教室（特別教室、管理諸室等を除く。）として10教室（普通教室：7教室、ワークスペース：3教室）と、特別支援学級等で3教室分の面積を想定する。

ア）普通教室

学務課の推計による生徒数の予測（令和4年5月1日現在）は下表のとおりである。なお、将来の35人学級も想定したうえで、普通教室は7教室を確保する。

年度	4年度 (2022)	5年度 (2023)	6年度 (2024)	7年度 (2025)	8年度 (2026)	9年度 (2027)	10年度 (2028)
生徒数 (クラス数)	159 (6)	155 (6)	178 (6)	184 (6)	178 (6)	166 (6)	182 (7)

イ）ワークスペース

標準設計仕様書の標準的な考え方に基づき、合計3教室を確保する。

ウ）特別支援学級等

世田谷区特別支援教育推進計画（第二期）に基づき、特別支援学級の利用生徒数の増加に対応するため、地域的なバランス等に配慮しながら、増改築の機会を捉えて特別支援学級の整備に取り組むこととしている。

このため、「特別支援学級等設計標準仕様」を踏まえ、特別支援学級（固定学級）及び特別支援教室の指導場所として3教室分を確保する。さらに、竣工後の生徒数の推移や使用状況を踏まえながら、ワークスペースを有効に活用し、教室環境の充実を図る。

区立児童館

現在策定中の「子ども・子育て支援事業計画調整計画」策定の基本的な考え方における、「今後の子ども政策の考え方(グランドビジョン)」では、子どもが生まれ、健やかに育つ環境を整えるため、「子ども子育て応援都市」をバージョンアップするための施策の一つである、「世田谷版ネウボラの展開」として在宅子育て支援の充実を位置づけ、現在5地域に設置している子育て支援館を全児童館に展開し、児童館未整備地区を含む33か所に設置することとしている。

一方、これまでの児童館の設置については、厚生労働省令・通知および世田谷区児童館条例施行規則による、集会室、遊戯室、図書室、音楽室、工作室などの諸室の規定等に基づき整備を進めてきた。

今後は、地区における子ども・子育て支援の中核として、これまでの児童館の機能を構成する諸室・諸設備に加え、在宅子育て支援の充実を図るため、集会室、相談室、子育てひろば等の必要な諸室・設備等を拡充・整備するとともに、児童館施設の夜間や休館日の活用について、中高生の活動や学習支援に供するダンス室（兼ピアノ室）や多目的な利用が可能な諸室等更なる児童館の効果的・効率的な利用を図れる施設とするなど、現在の児童館の平均延床面積を超えて上記延床面積を確保する。

3 概算経費

(1) 概算事業費

奥沢中学校（設計費、建設工事費、解体工事費、仮設校舎設置費）

約 40.2 億円

内訳	設計費	:	約 2.7 億円
	改築費	:	約 29.0 億円
	既存校舎改修費	:	約 0.3 億円

解体工事費 : 約 3.3 億円

仮設校舎経費 : 約 4.9 億円

外構工事費（校庭整備・道路整備含む）は上記概算額に含まず。

特定財源として、国庫補助事業（公立学校施設整備費負担金及び学校施設環境改善交付金）を活用し、約 3.0 億円を見込んでいる。

区立児童館

約 5.1 億円

内訳 設計費 : 約 0.5 億円

改築費 : 約 4.6 億円

外構工事費（館庭整備）は上記概算額に含まず。

特定財源として、国庫補助事業（次世代育成支援対策施設整備交付金（補助対象費の 1/2）都市町村包括補助事業（補助対象費の 1/2））の活用を想定し、約 4.6 千万円を見込んでいる。

（2）施設維持管理費

奥沢中学校

約 3.1 千万円/年

中学校（一部除く）の過去 3 カ年決算額平均値（光熱費、修繕費、委託費）から試算

区立児童館

約 3.4 百万円/年

児童館の過去 3 カ年決算額平均値（光熱費、修繕費、委託費）から試算

4 今後のスケジュール（予定）

令和 4 年度 基本構想プロポーザル公告

令和 5 年度 基本構想、基本設計

令和 6 年度 基本設計、実施設計

令和 7 年度 実施設計、仮設校舎整備等、校舎解体工事

令和 8 年度 校舎解体工事、児童館整備工事、
学校整備工事（体育館棟）

令和 9 年度 児童館整備工事・しゅん工、道路整備工事、
学校整備工事（体育館棟しゅん工）

体育館棟解体工事

令和 10 年度 学校整備工事（校舎棟）

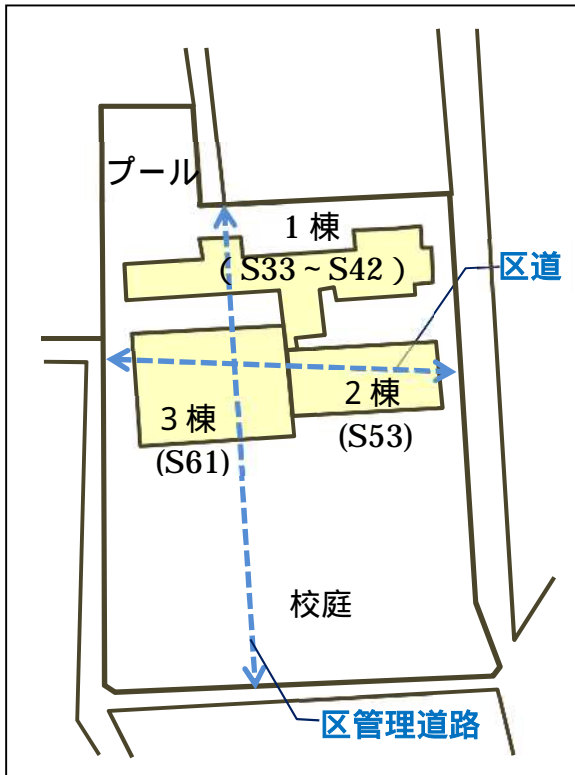
令和 11 年度 学校整備工事（校舎棟しゅん工）、外構・校庭整備工事他

【参 考】施設の概要

(1) 周辺図



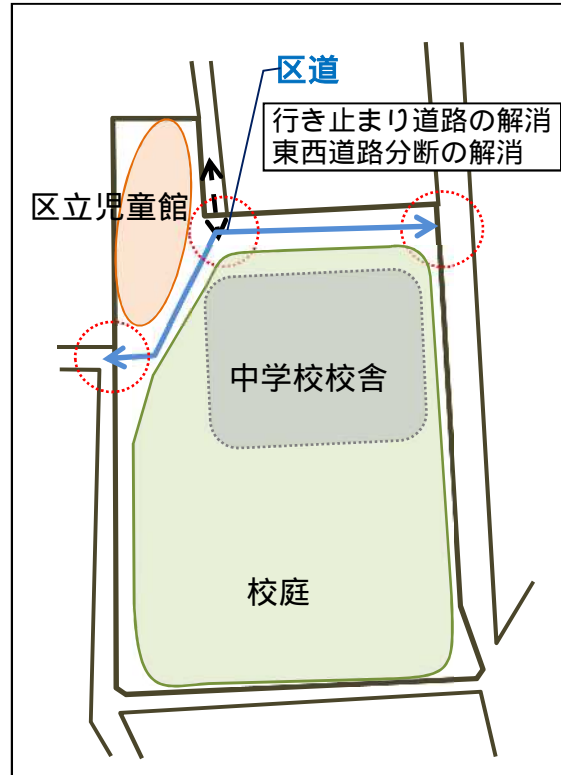
(2) 既存校舎の現状



既存校舎

1棟 (教室棟)	2,489 m ²
2棟 (特別教室棟)	1,670 m ²
3棟 (体育館棟)	2,433 m ²
合計	6,592 m ²

(3) 施設配置の整備イメージ



施設整備

奥沢中学校	約 6,890 m ²
区立児童館	約 735 m ²